

西南日本の深部低周波微動・短期的スロースリップ活動状況 (2009年2月～2009年4月) その4



防災科学技術研究所

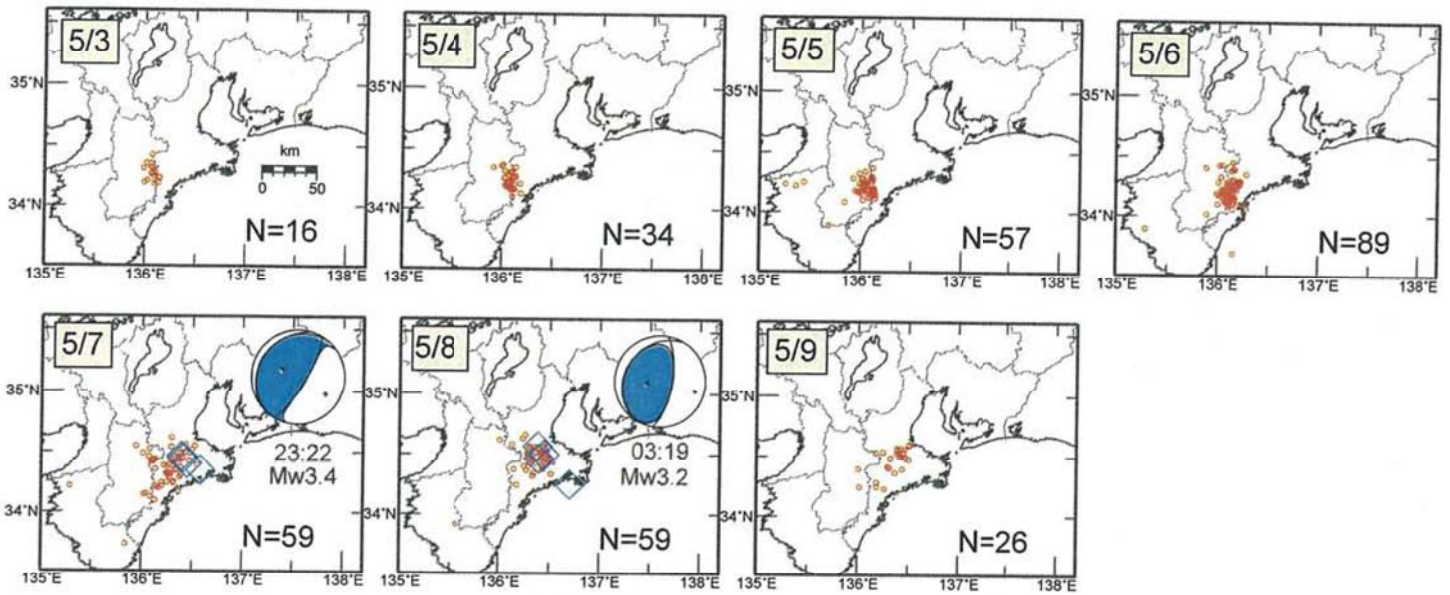


図8. 紀伊半島における2009年5月3～9日における1日毎の深部低周波微動源震央分布. 赤丸が当該期間の微動の震央位置を表す. 青菱形及び発震機構解は, 当該期間中(5月8日まで)に検出された周期約20秒に卓越する深部超低周波地震(Ito et al., 2007)である. 三重・奈良県境中部で5月3日から微動活動が開始し. 5月6日から北東方向に移動を始めた. この活動に同期して, 周辺の観測点では傾斜変動を観測している. この地域では, 2008年11月に主として南西方向に移動する微動活動が見られているが, 今回の活動はそれ以来来6ヶ月ぶりの活動である. さらに, 2006年1月には今回の活動とほぼ同じ場所から微動活動が始まり, 北東方向に移動し, 最終的には伊勢湾を越えて愛知県側にまで微動・スロースリップイベントが連動した.

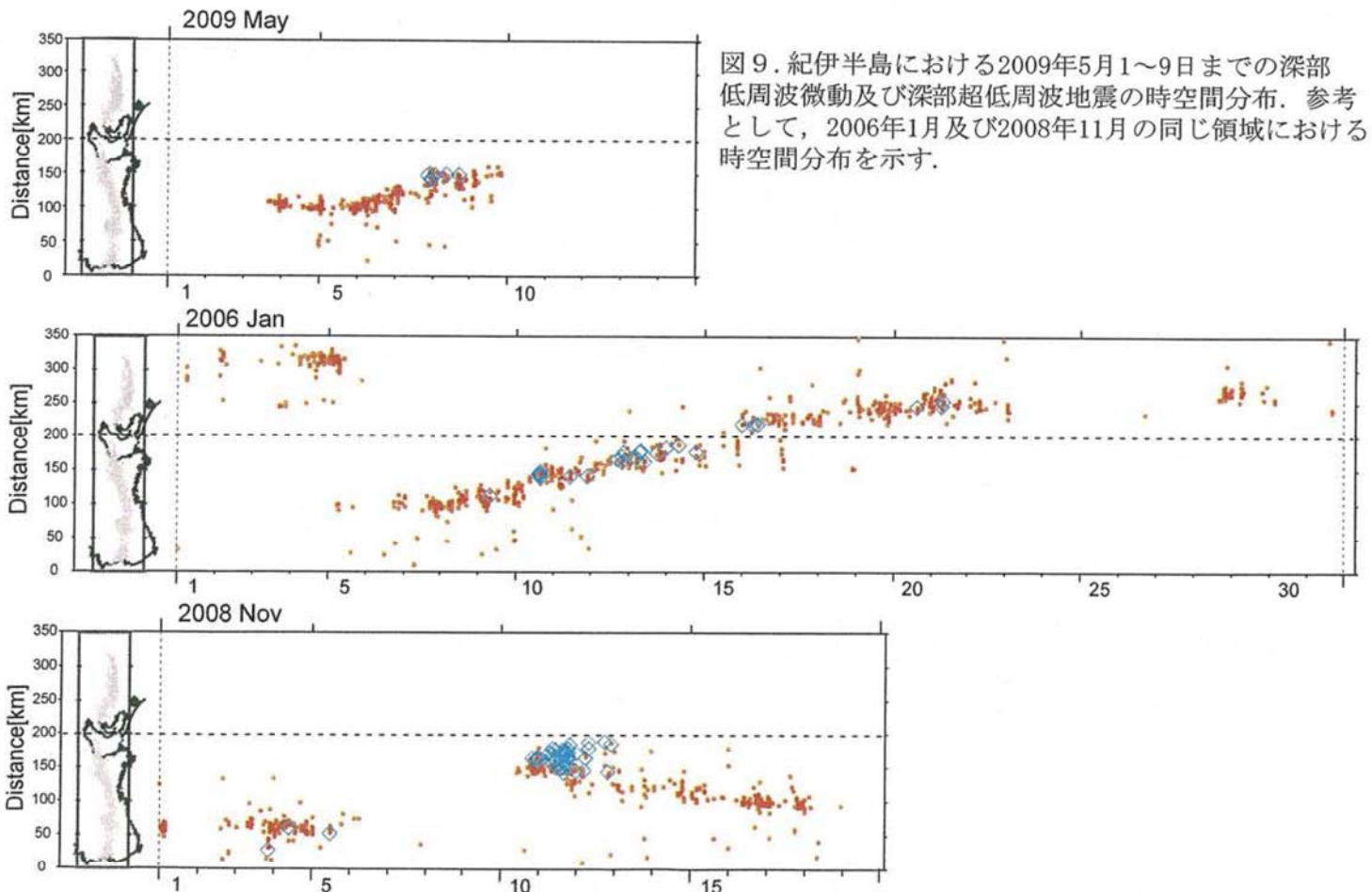


図9. 紀伊半島における2009年5月1～9日までの深部低周波微動及び深部超低周波地震の時空間分布. 参考として, 2006年1月及び2008年11月の同じ領域における時空間分布を示す.